

# 第10回 子吉川圏域 流域治水協議会 開催概要

令和6年11月27日  
秋田河川国道事務所

## 1. 概要

○子吉川では令和6年7月からの大雨により、堤防の決壊や越水による氾濫被害が発生したことを踏まえ、今次洪水と同規模の降雨で発生しうる浸水被害を軽減させるための治水対策として、あらゆる関係機関と協働して緊急的に行う「水災害対策プロジェクト(案)」について議論し、内容について了承されました。

## 2. 開催日／実施状況

■日時: 令和6年11月27日(水) 14:00~15:30

■場所: 由利本荘市役所本庁4F 正庁

■出席者: 由利本荘市長、にかほ市長、農林水産省東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所長、林野庁東北森林管理局 由利森林管理署長、森林整備センター東北北海道整備局長(秋田水源林整備事務所長)、気象庁秋田地方気象台長、秋田県総務部危機管理監(総合防災課政策監)、秋田県農林水産部長(次長)、秋田県建設部長(建設産業振興統括監)、秋田大学名誉教授 松富英夫、東北地方整備局河川部長【Web会議にて参加】、鳥海ダム工事事務所長(副所長)、秋田河川国道事務所長 ※()は代理出席

## 3. 協議会での主なコメント等

【学識経験者 松富秋田大学名誉教授より】

・子吉川の中流域の被害軽減に向けて、理にかなった計画となった。但し、現在の災害情報の伝達は外水氾濫が中心。内水氾濫も考慮する必要があり、伝え方について検討が必要になる。

【由利本荘市長より】

・ソフト対策においてもハザードマップや自主防衛組織の構築等、ハード・ソフトの両面で災害に備えた対策を推進する。

【にかほ市長より】

・ハザードマップを策定し市民の方々に地域のリスクを周知していただき、浸水状況などが早期に把握できるような仕組みづくりを行って、避難情報の伝達につなげたい。

【秋田地方気象台長より】

・今回の鳥海山周辺での降雨は観測史上最高を記録。今後も地球温暖化の影響により今回の大雨を超えるような降雨が発生すると考えていただきたい。

【西奥羽土地改良調査管理事務所長より】

田んぼダムについて流域治水対策のため、今後も推進・普及していく。

【由利森林管理署長より】

森林整備及び保全について引き続き実施し、各関係機関とより一層の関係を築き、流域治水を推進していく。

## 11の関係機関、学識経験者の松富先生が参加



協議会開催状況(由利本荘市本庁4F正庁)



林河川部長



由利本荘市長



市川にかほ市長



秋田大学  
松富名誉教授



山本  
秋田地方気象台長



渡辺西奥羽土地改良  
調査管理事務所長



楠本  
由利森林管理署長



松本  
事務所長



小野  
秋田県建設部長代理